



2009年10月23日

IVRC 実行委員会

<http://ivrc.org/>

報道関係者各位

IVRC2009 最終審査結果発表

日本科学未来館で2009年10月22日～25日に開催中の『第17回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト(IVRC2009)』の表彰作品が決定しました。

表彰

- 総合優勝** 賞金 30 万円 (SIGGRAPH2010 研修費) + SIGGRAPH 投稿サポート
作品名 : Mummytummy
チーム : 感じるケバブ(金沢工大学園)
- 日本 VR 学会賞** 賞金 10 万円
作品名 : ダイラタノシー
チーム : ビッグチキンカツ(大阪大学)
- 岐阜 VR 大賞** 賞金 10 万円
作品名 : Column Gear ～ぼくのからだがうごくまで～
チーム : はっぴーたん (豊橋技術科学大学)
- 川上記念特別賞** 賞金 1 万円
作品名 : だいたい無限デスク
チーム : スノーマン (電気通信大学)



Laval Virtual Award

副賞 Laval Virtual2010 招待+トロフィー

作品名：Column Gear ～ぼくのからだがうごくまで～

チーム：はっぴーたん(豊橋技術科学大学)

明和電機賞

副賞 明和電機忘年会招待+記念品

作品名：Air-Hair

チーム：ピノール・ド・チャイ(東京工業大学)

未来観客賞

副賞 賞金 1 万円

展示終了日 10/25 迄に最も一般来場客の評価を集めた作品に決定予定

以上



現在日本科学未来館では IVRC2009 を開催しています。会場では全国から寄せられた 72 件の応募から、審査を勝ち抜いた 10 点と海外からの招待作品 1 点の展示が行われています。

大会初日(10/23)には最終審査として、第一線で活躍している先端技術の研究者・クリエイター・業界有識者による作品審査・表彰が行われました。今年も技術面・芸術面共に非常に質の高い作品が全国から集っています。学生ならではの着想・工夫・そして試行錯誤が凝らされたハイレベルな作品展示は日曜日(10/25)まで行われます。是非皆様でご来場下さい。

IVRC2009 とは？

IVRC2009 は、学生たちの新しい発想と創作への熱意を生かしたバーチャルリアリティ (VR) 作品・インタラクティブアート作品のコンテストです。1993 年より毎年開催され、先端技術やアートの素養に優れた学生の作品が集まる場として国際的にも注目を集めています。本戦では書類審査・プレゼンテーション審査・ビデオ審査と 3 段階の精査を受けた優れた作品がデモンストレーション展示を行います。

昨年度は IVRC2008 東京予選大会¹を日本科学未来館で開催し、2 日間で 3200 人以上を動員いたしました。新規性・技術力・芸術性・エンタテインメント性に優れた展示は、有識者のみならず、幅広い年代の一般来場者の皆様から好評を得ました。



(写真は IVRC2008 日本科学未来館展示の様子)

¹ 昨年度の東京予選大会が本年度のビデオ審査に相当しているため、本年度は東京決勝大会が最終審査の会場となっています。



IVRC2009 作品紹介

展示中の作品の一部を紹介します。

総合優勝『Mommy Tummy』 感じるケバブ（金沢工大学園）



金沢工大学園のチームは二度目の出場。前回は初出場ながら東京予選を勝ち抜き BEST4 入りを果たした実力派。IVRC2009 ではプレゼンテーション審査を1位通過し、高い関心を集めました。決勝ではその期待に応える形で圧倒的な票を集めての優勝となりました。

作品 Mommy Tummy は男性や子供でも妊娠体験を可能にするジャケット型のデバイス。妊娠時に感じる体の重み腹部のふくらみに加えて胎動や胎児の体温も再現します。早い段階から妊娠経験者からも生の声を集めながらリアル作品体験に仕上がりました。体験不能な事象を体験可能にするバーチャルリアリティの性質を利用して、男性の思いやりや夫婦・親子のコミュニケーションを引き出すという優れた作品コンセプトにも着目したい作品です。

日本 VR 学会賞『ダイラタノシー』 ビッグチキンカツ（大阪大学）

ダイラタノシーの名は作品で使用されている物質「ダイラタント流体」をもじったもの。水槽に満たされたダイラタント流体は、風いだ状態ではサラサラですが、圧力が加わるとドロドロに変化します。ダイラタノシーではこの特性を利用してバーチャルな水棲生物と触覚インタラクショナルを楽しむことができます。実はこのダイラタント流体、水溶き片栗粉のことなのです。身近にある素材を用いながら、未踏の応用領域にチャレンジした技術力が高く評価されました。





Laval Virtual Award 『Column Gear ～ぼくのからだがうごくまで～』
はっぴーたん (豊橋技術科学大学)



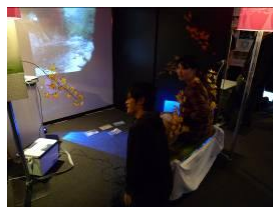
Column Gear は3名の操縦者の協調操作によって、変形・移動する球状のオリジナルロボット。インタラクションの楽しさのみならず、独特のフォルムの持つ芸術性、変形の機構美も注目を集めています。

フランスからの招待作品 『SCOPE』
Frantz Lasorne (Arts et Metiers ParisTech)



SCOPE はフランスの学生チームによる IVRC2009 招待作品。現実世界とバーチャル世界を協調のよって進むプレイグラウンドトイです。学生作品ながら、複数の海外コンテストでの受賞歴もあり、完成度が非常に高い作品です。

その他の作品展示の様子





【第17回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト作品展示】

日時 2009年10月22日(木)～10月25日(日) 10:00～17:00

会場 日本科学未来館 1F

(IVRC2009 展示エリア内は入場無料)

■主催: 日本バーチャルリアリティ学会

■後援: 文部科学省

■協賛:



(株)アールアールジェイ <http://www.rrj.jp/>

株式会社 クレセント

(株)クレセント <http://www.crescentvideo.co.jp/>



三徳商事(株) <http://www.san-toku.co.jp/>



(株)スリーディー <http://www.ddd.co.jp/>

価値あるVR創造企業
ソリッドレイ研究所

(株)ソリッドレイ研究所 <http://www.solidray.co.jp/>



(株)ビュープラス <http://www.viewplus.co.jp/>



岐阜県 <http://www.pref.gifu.lg.jp/>

問い合わせ先: 日本バーチャルリアリティ学会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-28-3 山越ビル 301
TEL:03-5840-8777 / FAX:03-5840-8766
担当者:柳沼、松岡 ivrcinfo@ivrc.net